

# CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版  
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)  
■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

## 1. 建物概要

建物名称	ウオロク馬越店	
建設地	中央区 本馬越2丁目860-1 他	
用途地域	第1種・第2種住居、防火指定なし	
建物用途	物販店,	
竣工年	2016年8月 竣工	
敷地面積	6,515.36 m <sup>2</sup>	
建築面積	2,465.03 m <sup>2</sup>	
延床面積	2,315.45 m <sup>2</sup>	
階数	地上1F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2016年3月9日	

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{48.1}{39.4} = 1.2$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.3		バリアフリー	3.0
			維持管理	4.0
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	2.9		耐震・免震	3.0
			信頼性	2.8
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.5		建物の熱負荷抑制	4.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.3		節水	4.0
			リサイクル材の使用	5.0
			再利用可能性向上	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全・創出	1.0
			敷地内温熱環境の向上	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

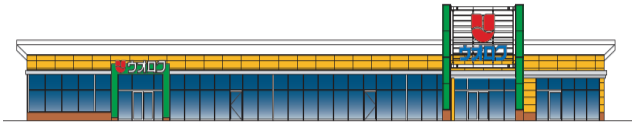
- ・バリアフリー法の適合や躯体と内装を分けた設計をすることによるリフォーム可能な設計をした。
- ・大雨に対し、敷地全体で駐車場内雨水貯留を計画し、敷地外に常時雨水が流れ出ないようにした。
- ・室外機置場を屋根上設置とするなど景観上、熱環境上配慮した。

# CASBEE®新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)  
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

## 評価結果内訳

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ウオロク馬越店	階数	地上1F
建設地	新潟県新潟市中央区	構造	S造
用途地域	第1種・第2種住居、防火指定なし	平均居住人員	0人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	5,475時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年8月 竣工	評価の実施日	2016年3月9日
敷地面積	6,515 m <sup>2</sup>	作成者	宮下 拓也
建築面積	2,465 m <sup>2</sup>	確認日	2016年3月9日
延床面積	2,315 m <sup>2</sup>	確認者	宮下 拓也



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	86%
③上記+②以外の	86%
④上記+	86%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

音環境	1.8
温熱環境	3.0
光・視環境	3.0
空気質環境	3.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

機能性	3.6
耐用性	3.2
対応性	3.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

建物の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

水資源	3.4
非再生材料の	2.5
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.5
地域環境	3.1
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	近隣の方々に当物件の概要を説明をし、出来る限り音、臭い、交通環境等周辺環境への配慮設計をしております。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
スーパーとして標準的な仕様となっております。また騒音内容は、放送設備より検討致しました。	サービスにおいては買い物に来られるお客様にとって利用しやすい広さと維持管理の徹底をすることで評価検討しました。	室外機置場を屋根上設置とするなど景観上、熱環境上配慮しました。また出来る限り植栽帯を設けるなど環境に配慮しております。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
スーパーとして標準的な仕様となっております。	躯体と仕上げ材が容易に分別可能とした設計としています。	近隣への配慮は計画段階から近隣住民の皆様にご説明等しながら進め、周辺環境に対する配慮をしております。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される